

愛友会ニュース

「被団協」新聞
(愛知県版)
No.482
2022.4.6

編集・発行 愛知県原水爆被災者の会(愛友会)
〒462-0841 名古屋市北区黒川本通2-11-1コーポタニグチ201
電話052-325-7901
相談日 : 月・水・金 午後 1時~4時

今こそ、被爆者の強い声を政府に !!



被爆者の最大の願いは、”再び世界のどこにも被爆者をつくらない”を掲げ65年間も、日本・世界に訴え続けてきました。

そして、昨年1月22日「核兵器禁止条約」は国際法として、その力を発効することになったのです。締約国は59ヶ国に拡大していく中で、2月24日ロシアはウクライナを攻撃し。自国を核保有国最大の国であると、ウクライナだけでなく、侵略に制裁を課す世界を脅迫し脅しをかけました。「まさか!!」被爆者を始め世界各国は絶句!!

しかし、ウクライナ侵略が一月近くになる今、ロシアの核兵器使用が懸念。この間、安倍前首相は「核共有」を示唆、政党維新は「核共有」を国会に議案提出しました。直ぐに、日本被団協は抗議声明

を出しました。「核共有」とは核の使用を前提にしています。「核兵器禁止条約」に真っ向から反対したプーチン戦争を絶対に許すことはできません。同時に安倍氏、維新の行為も同様です。

私たち被爆者は、今こそ声を大にして「核共有論に反対を訴えねばなりません。岸田首相は「非核三原則」に抵触すると発言しています。一日も早く、日本政府に「核兵器禁止条約」に加盟させなければなりません。

「被爆者行脚」報告会を開催

県下で過半数を超える市町村が独自の被爆者への援護施策を行っている

3月5日、名古屋市北区の生涯学習センターで、「2021年度被爆者行脚報告会」が開催されました。愛友会と愛知被爆者支援ネットワークが協力して開催しました。当日報告された「被爆者行脚のまとめ」の内、自治体からの回答書の中の被爆者援護施策のまとめの主な内容をお知らせします。

愛知県	愛友会への助成相談事業委託料…国基準に上乗せ支給。慰霊事業 ※原爆被爆者対策費は総額7億8322万7千円。
名古屋市	地下鉄、市バス無料の福祉特別乗車券を交付
豊橋市	豊睦会に26万円補助金
岡崎市	広島・長崎へ検診受診者補助2名で85000円
一宮市	一宮の会に補助支給。広島・長崎への検診受診者に補助。被爆者手当1500/月を支給。
春日井市	広島・長崎への検診旅費助成、介助者にも助成。市内温水プール無料。
半田市	バス運賃助成のバス券3人
津島市	市民税減免、栄養剤支給、津島支部へ補助金、福祉タクシー利用、健康管理手当2000円/月
安城市	社協から手帳取得者に年額5000円支給
西尾市	広島・長崎への検診旅費助成、介助者にも助成
犬山市	広島・長崎への検診の旅費補助
江南市	広島・長崎への検診旅費助成。タクシー助成券24枚/1人。江南支部に20000円/年助成。社協からも40000円/年助
小牧市	広島・長崎への検診旅費助成、介助者にも助成
稲沢市	月額3000円を26人に支給。検診助成4人で224480円
大府市	大府支部に12万円助成。広島・長崎への検診旅費助成4名分
知立市	被爆者見舞金10000円/年
尾張旭市	日常生活支援券10000円/年
岩倉市	被爆者の会に補助金支給。検診旅費の補助
日進市	健康管理手当10000円/年
愛西市	被爆者の会補助金56000円。健康管理手当5000円/月…15名。検診旅費補助44000円/1人。タクシーチケット補助…初乗+迎車の24枚
清須市	駅前駐輪場、清須城入場料の減免
北名古屋市	広島・長崎への検診旅費助成
弥富市	健康管理手当3000円/月 12名
あま市	被爆者手当を月3000円支給…18名
大口町	広島・長崎への検診旅費助成。介助者への助成も検討する
扶桑町	検診旅費助成11万1千円予算化
大治町	健康管理手当3500円/月
蟹江町	手当を月額5000円支給

二世手帳を申請しましょう

二世部会 杉戸 孝

愛知県の二世健診（被爆二世健康診断）は、これまで受け続けていた職場での一般健診よりも検診項目が少なかったため私は受けていませんでしたが、この間の被爆一世の皆さんの長年の要求が実を結び、やっと二世手帳が交付されると聞いて、さっそく愛知県の担当部署に電話をしました。担当者の方には「所定の用紙に記入して郵送していただければ大丈夫です。月末で申請をまとめて、翌月に交付します」と言われました。ただこの所定の用紙は愛友会からいただいていた申込書と違う用紙（「被爆二世申出書」）でした。比べてみると書き入れる項目が増えています。県庁に行って聞きましたら、どうしても書き入れなければいけない必須項目は、自分の住所などの情報以外は、親の名前と被爆地だけでした。私は母親の被爆手帳は手元になく、申し訳ないことに、誕生日も忘れていたのですが、それらを書き入れず無事受理されました。併せてこれまで受けていなかった二世検診も一緒に申し込みました。担当者の方も「お薬手帳みたいなものですから（気楽に）」とも言っていますので、まず第一歩。二世検診の内容を充実させることを今後も訴えながら、二世手帳をぜひ申請しましょう。愛知県ではすでに500名近くの二世が取得しているそうです。



被爆二世部会が反核医師の会と懇談会開催



3月26日、愛知県保険医協会伏見会議室において、「反核医師の会と愛友会被爆二世部会の懇談会が開催されました。

「全国被爆二世実態調査報告書」をもとに懇談。被爆による遺伝的影響は分からないとされている中で、6割を超える被爆二世が健康などに対する不安や悩みをかかえているという調査結果について議論。被爆二世、三世に対する健診や医療費助成を要求していく必要性などを懇談しました。

3月21日、「被爆者訪問」活動が支援ネットと愛友会の協力で行われました。名古屋市緑区の沢田昭二さん、港区の稲垣慶子さん、天白区の加賀江美代子さんを訪問。沢田さんも退院後、お元気な様子で安心しました。



4月のおもな予定

- 8日 新聞発送
- 19日 4.19集会 光の広場
- 20日 豊橋支部豊睦会総会
- 21日 支援ネット事務局会議
- 23日 名古屋支部被名協総会
- 27日 東海・北陸ブロック会議

募金にご協力をいただき、ありがとうございました。

(敬称略) 3/1~3/31
 ▼中田進(京都) ▼水野秋恵(春日井)
 ▼愛知県原水協活動支援金
 計36,000円